



平成 27 年 5 月 27 日  
 (一社) 全国漁業就業者確保育成センター  
 担当： 矢野  
 電話： 03-5545-1617  
 メール： info@ryoushi.jp

## 「漁業就業支援フェア 2015」第二弾を大阪・仙台で開催！

### 漁師になるための就業相談会『漁師の仕事！まるごとイベント』

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区)は、「漁業就業支援フェア 2015 『漁師の仕事！まるごとイベント』」の第二弾、大阪・仙台的開催を決定いたしました。このフェアは、漁業や漁師の魅力を知ってもらうとともに、漁業就業への間口を広げ、漁師を目指す人を支援する取り組みの一環として毎年開催しているもので、今年の第一弾は福岡(3/14)と東京(3/21)で開催いたしました。今夏は、6月27日大阪 OMMビル(大阪市中央区)と、7月11日 TKP ガーデンシティ仙台(仙台市青葉区)で開催いたします。

ライフスタイルの多様化などにより、若い世代の働き方や暮らし方が変化する中、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師を目指す若者が増えています。一方で、国内の漁業就業者数は年々減少の一途を辿ると同時に高齢化も進行し、担い手が不足しています。このような状況の中、「漁師になりたい・興味がある」人と「新たな担い手を求める」漁協や漁業会社が出会う場である漁業就業支援フェアは年々注目を集めており、前回の東京会場(3月21日)では過去最高の382人(就業希望者数、同伴者等を除く)もの就業希望者が来場しました。フェア来場がきっかけとなり漁師への第一歩を踏み出した人もいます。また、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得て、今後漁業就業が選択肢のひとつとなった人もいます。

このように、漁業就業支援フェアは、漁師を目指す人には第一歩を踏み出すチャンスの場であり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人には漁業就業に関する様々な情報を得る場です。自身の状況にあわせて、気軽に参加できるイベントです。

開催地	開催日時	会場	出展予定ブース数
大阪	6月27日(土) 12:30 から 16:00 受付開始 12:00/受付終了 15:30	OMMビル B・C ホール 大阪市中央区大手前 1-7-31 2F	40 ブース
仙台	7月11日(土) 12:30 から 16:00 受付開始 12:00/受付終了 15:30	TKP ガーデンシティ仙台 D ホール 宮城県仙台市青葉区中央 1-3-1 AER30 階	10 ブース

\* 出展ブース数は変更になる場合があります。出展団体情報は順次「漁師.JP」で確認いただけます。

#### 【参加方法・参加条件:2会場共通】

- ◇参加条件:漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。  
 未経験者・家族連れ歓迎／参加費無料／事前の参加申し込み不要(当日会場へ来場ください)  
 ／履歴書不要 ／服装自由 ／入退場自由
- ◇一般の方からのお問合せ先:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター  
 電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00(土・日・祝日除く)
- ◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>
- ◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター ◇後援:水産庁

### ■「漁業就業支援フェア 2015」の概要

フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展、来場者は直接この出展団体ブースを訪問し、個別に相談(面談)できます。なお、個別相談(面談)の結果を基に、フェア終了後、出展団体の研修候補生に採用されるケースもあります。

出展団体ブースの他、専門の相談員に漁業全般のわからない事や就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について紹介する「ガイダンスコーナー」などを設けます。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスであり、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。



漁業就業支援フェア 2015 ポスターカット

### ■注目集める「漁業就業支援フェア」

3月に開催した「漁業就業支援フェア 2015」第一弾では、2会場で合計 459 人、東京会場では過去最高となる 382 人もの方が来場者し、熱心に情報収集をする姿が見られるなど、漁業就業への関心の高さを証明する結果となりました。

#### (参考)漁業就業支援フェア 2015(3月開催)の実績

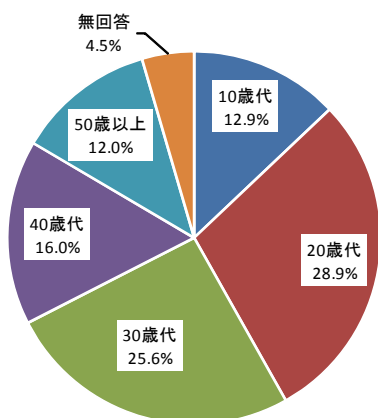
会場	福岡	東京
開催日	3月14日(土)	3月21日(土)
場所	福岡県中小企業振興センター	ベルサール半蔵門
出展団体数	27団体	52団体
来場者数 ※同伴者をのぞく	77人	382人



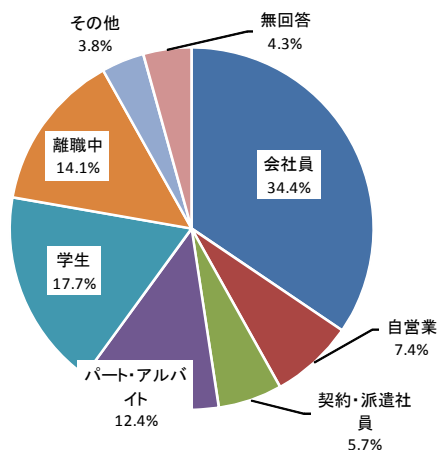
会場の面談風景

#### (参考)フェア来場者の属性(2015年3月 東京・福岡フェア来場者アンケートより)

【来場者の年齢層内訳】



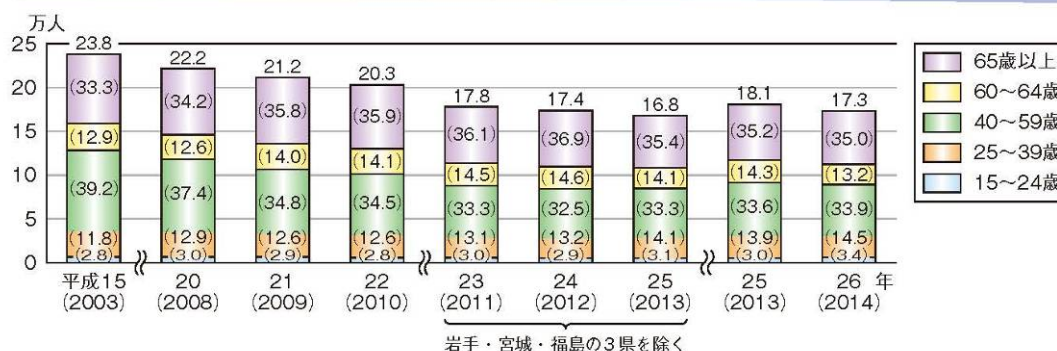
【来場者の職業内訳】



## ■漁業就業者数の動向

平成15年に約24万人であった漁業就業者数は、平成24年には約17万人(岩手・宮城・福島を除く)へと減少、また、高齢化率36.9%と高齢化が急速に進んでいます。一方、漁業への新規就業支援施策などにより、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師への転職を目指す若者が増えるなど平成24年には1920人が新たに就業しています。日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどが重要です。

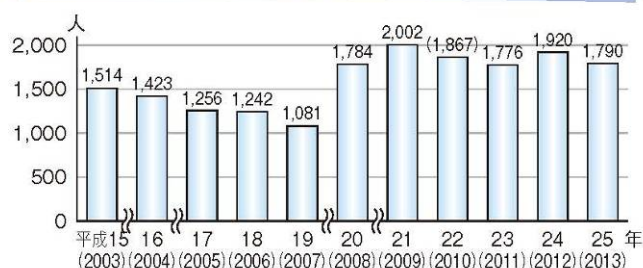
図Ⅱ-1-11 漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」(平成15(2003)年、20(2008)年、25(2013)年)及び「漁業就業動向調査報告書」(平成21(2009)～24(2012)年、26(2014)年)

- 注：1) 「漁業就業者」とは、満15歳以上で過去1年間に漁業の海上作業に30日以上従事した者  
 2) ( )内は漁業就業者の合計を100%とした構成割合(%)である。  
 3) 平成20(2008)年以降は、雇い主である漁業経営体の側から調査を行ったため、これまでは含まれなかった非沿海市町村に居住している者を含んでおり、2003年漁業センサスとは連続しない。  
 4) 平成23(2011)年、24(2012)年は、東日本大震災の影響により、岩手、宮城及び福島を除く集計である。

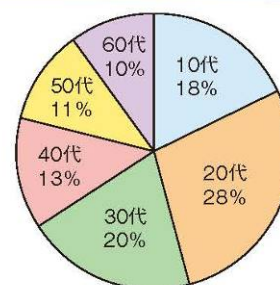
図Ⅱ-1-12 新規漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「農林水産業新規就業者調査結果」(平成15(2003)年)及び「漁業センサス」(20(2008)年)。平成16(2004)年、21(2009)～25(2013)年は都道府県が実施している新規就業者に関する調査から推計。平成17(2005)～19(2007)年は(一社)大日本水産会による漁業協同組合へのアンケート調査結果

- 注：1) 調査が異なるため、平成15(2003)年と16(2004)年、16(2004)年と17(2005)年、19(2007)年と20(2008)年、20(2008)年と21(2009)年の結果は連続しない。  
 2) 平成22(2010)年は、東日本大震災により岩手県、宮城県、福島県の調査が実施できなかったため、21(2009)年の新規就業者数を基に、3県分を除いた全国のすう勢から推計した値を用いた。

図Ⅱ-1-13 新規漁業就業者の年齢組成(平成25(2013)年)



資料：都道府県が実施している新規就業者に関する調査に基づき水産庁で作成  
 注：沿岸漁業就業者を対象としたものである。

資料：平成26年度水産白書

## 当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当：矢野

電話：03-5545-1617(平日 10:00～17:00(土・日・祝日除く)) e-mail info@ryoushi.jp

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル

【HP】<http://ryoushi.jp> 【facebook】<https://www.facebook.com/ryoushi.jp> 【twitter】@ryoushi\_center

※当資料は、「農政クラブ」「水産庁記者クラブ」に配布しています。